

# 新左翼

### 記事紹介

二面 国家と教育を考  
える藤木進治  
氏講演

三面 自衛隊演習阻止  
全大阪反戦決起  
集会

四一 米兵が基地(砂  
川)から青年に  
発砲

四二 五月「後のフ  
ランス」現地か  
らの報告 J・P  
ランタン

## 大学支配の秩序と対決

### 大 構内に機動隊乱入

#### 京 入試口実に闘争破壊狙う

京大全共闘は「大闘争スローガン」(東大を突破口とする権力の大学専制支配を全面大学バリエーションでねかえし、二月中教審特別答申を粉砕せよ)を掲げ、全学闘争を勝利せよ。②東大・当局の専制支配を粉砕せよ。③東大の民主化を推進せよ。④東大の権力・当局的共犯者を告発せよ。日共・民青系の城内外和路闘争・運営協議会方式粉砕。⑤一切の管理機構粉砕。⑥教養部自治協議会を粉砕せよ。⑦一切の試験制度粉砕せよ。⑧寮・宿舎・図書・学生部長は闘争妨害を自己批判し、辞任せよ。⑨京大権力の中枢(本部)を占拠せよ。⑩協賛的(代議員大会のデッチあげを粉砕せよ)70年安保闘争にむけて密接の連携を開始せよ。を掲げ、教養、医、文芸部等の無期限バリエーション、農、工各学部のストを遂行し、武装した日共・民青のスト破りと闘いをつづけてきた。日共は三月一日京大本部時計台前(京大)に集まり、全学闘争を煽動した。日共が集会場を機動隊に包囲され、京大、大阪などの各地から駆けつけた学生とともにこの策動を粉砕した。日共が集会場を機動隊に包囲され、京大、大阪などの各地から駆けつけた学生とともにこの策動を粉砕した。日共が集会場を機動隊に包囲され、京大、大阪などの各地から駆けつけた学生とともにこの策動を粉砕した。



京大教養部で集會をひらく。京大共闘と各地から応援に駆けつけた学生たち。

入試口実には闘争破壊狙う。京大で同学生会(学生自治会)を擁護するだけでなく、教職員にのびに非難を浴び、大きな力をもっている。日共・民青の反革命的な本質を大衆的に暴露し、彼らの大衆的基礎を揺るがした。彼らの民主化路線は、支配階級維持路線にすぎない。彼らは大学改革のゲゲモノを掲げるために、機動隊を擁護し、われわれとの闘いに血道をあげている。大学は帝国主義者の道具だ。この大学の秩序を自己の名で守ろうとしているのが民青だ。われわれは大学当局と国家権力に対して徹底的に闘うことにより、この大学の階級的性格を更にはっきり暴露されるだろう。

### 二千の労・学が結集

#### 東大・日大闘争報告会

二十四日大阪府石橋の東大で、夜六時から、東大・日大闘争報告集會がひらかれ、約二千名の青年労働者と学生が参加した。広い教室は参加者でいっぱいになり、通路から演壇までごみつくされた。東大と日大の全共闘の代表はそ

きて、無茶苦茶に突込んだ。闘争を感ずる。あれは完全な政治闘争だ。それを入試は社会的責任という奥田の発言で、合法化している。その奥田が機動隊の本部隊に内乱を、ケチをつけてみたこと。奥田は機動隊の乱入に責任はないといいたいのだろうが、この奥田の愚がしつこくやうり口を、徹底的に暴露していかねばならない。一日の機動隊乱入は、われわれの入試阻止闘争に対して国家権力が非常な危機感をもっていることを示したと思う。奥田は入試実施によって闘争を弾圧しようなどとはしていない。奥田は入試実施によって闘争を弾圧しようなどとはしていない。奥田は入試実施によって闘争を弾圧しようなどとはしていない。

岩井弼次先生追悼大集会

日時 三月十六日(日)午後二時~九時

場所 大阪府教育会館新館大講堂(上本町六丁目)

第一部 追悼會

第二部 記念講演と映画

講演 京大教授 井上 清

闘争報告 東京、京都青医連代表

映画 闘争の記録映画

主催 岩井弼次先生追悼実行委員会

インドネシア共産党の新綱領

AA人民連帯日本委員会発行

一部五十円 送料三十五円

東京都千代田区神田町二五市村ビル 振替東京一八六〇九

関学闘争犠牲者に救済カンパを

狂人たちと呼ばれて

関学大闘争、機動隊と二十九時間闘った学生たちの落書(遺書)

一部百円 送料二十五円

関学事件逮捕者救済の会発行

西宮市上ヶ原 関西学院学生會館内 関学救済本部

# 国家と教育を考える

藤本進治氏が講演

## 神戸反戦教師の会が討論会

三月三日、神戸反戦教師の会が神戸労働大学において「国家と教育を考える」の討論集会を開催した。集会には学生、高校生、青年労働者などが参加し、京大助手共闘竹本氏の「京大闘争のめざすもの」藤本進治氏(哲学者)の「現在の国家について」と題する講演を聞いた。藤本氏の講演は二時間にわたって行われ、国家形成の過程、その役割等々詳細に語られた。ここでは紙面の関係により、「国家のプロレタリアート政策」を紹介する。

### 階級闘争の新しい質を規定するものは……

現在、階級闘争は一つの大きな発展を遂げ、明確な形を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

この階級闘争の発展は、質的な変化を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

現在、階級闘争は一つの大きな発展を遂げ、明確な形を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

現在、階級闘争は一つの大きな発展を遂げ、明確な形を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

現在、階級闘争は一つの大きな発展を遂げ、明確な形を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

現在、階級闘争は一つの大きな発展を遂げ、明確な形を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

現在、階級闘争は一つの大きな発展を遂げ、明確な形を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

現在、階級闘争は一つの大きな発展を遂げ、明確な形を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

現在、階級闘争は一つの大きな発展を遂げ、明確な形を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

現在、階級闘争は一つの大きな発展を遂げ、明確な形を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

現在、階級闘争は一つの大きな発展を遂げ、明確な形を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

現在、階級闘争は一つの大きな発展を遂げ、明確な形を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

現在、階級闘争は一つの大きな発展を遂げ、明確な形を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。



米軍のガンソリン輸送拒否  
反戦青年の活動

この階級闘争の発展は、質的な変化を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

無力を感ぜ、自然の猛威にまかせられていた人間にせしめられたのである。この階級闘争の発展は、質的な変化を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

一九世紀になると帝国主義戦争の必然性から国家、資本主義に大きな変化が生じてくる。帝国主義戦争でなくとも、総力戦で軍人だけで済んだが、総力戦ではある帝国主義戦争は全人民がその戦争に巻き込まれ、労働能力のあるあらゆるプロレタリアートが動員されるのである。

この階級闘争の発展は、質的な変化を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

この階級闘争の発展は、質的な変化を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

この階級闘争の発展は、質的な変化を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

この階級闘争の発展は、質的な変化を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

## 私生活と自発性失う

私生活とは一体何か。生産と消費が分離した現在の社会において私生活は資本主義社会において初めて成り立ったものである。消費生活が生産生活から完全に分離していることが資本主義社会の特徴である。

## 国家の階級解体政策

### 良心的な幹部ほど危険

この階級闘争の発展は、質的な変化を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。

この階級闘争の発展は、質的な変化を生じている。それは、かつていかにともが問題だと考えられていた階級闘争が、今日では国家として規定されるものになりつつある。



